

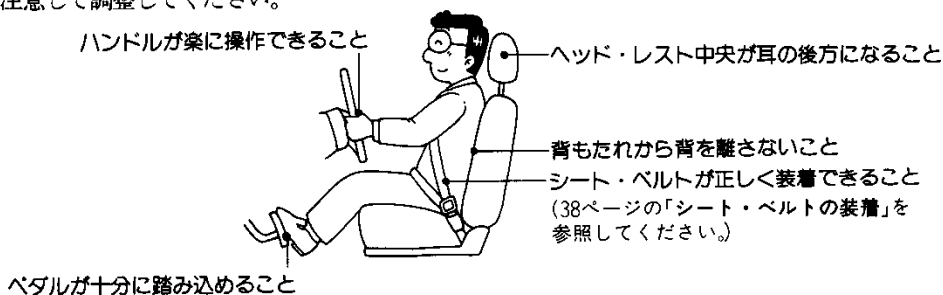
③ シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整

シート.....32
 シート・ベルトの装着.....38
 チルト&テレスコピック・ステアリング.....41
 チルト・ステアリング.....42
 インナー・ミラー(防眩ミラー).....42
 電動リモコン・ミラー.....43

シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整

シート

シートは正しい位置で使用しないと危険防止に役立ちません。
 次の事項に注意して調整してください。



- 調整は、必ず走行前に行ってください。
- 調整後、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。

ページ

フロント・パワー・シート

グランデGの運転席に標準装備

グランデGの助手席、グランデ(ツインカム24)の運転席に注文装備

33

フロント・シート

フロント・マニュアル・シート

GT・ツインターボ、グランデGの助手席、グランデ

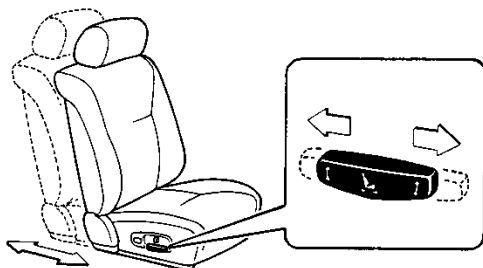
35

リヤ・シート

37

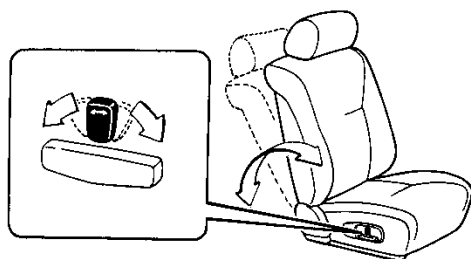
フロント・パワー・シート

前後位置調整



スイッチを前後に動かします。

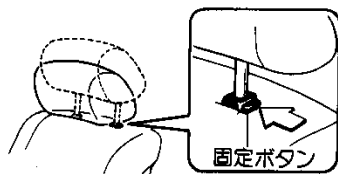
リクライニング調整



スイッチを前後に動かします。

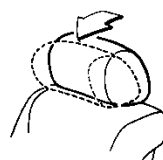
ヘッド・レスト調整

<上下>



- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。

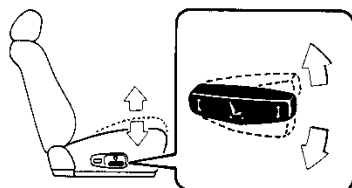
<前後>



- 前方に倒して調節します。
- 後方にもどすときは、一度前方にいっぱいまで倒し手を離します。

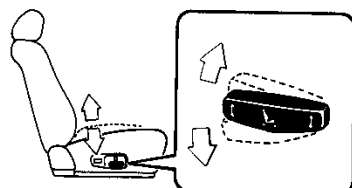
シート・クッション上下調整

<前側>



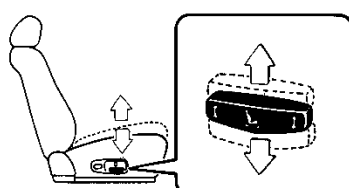
スイッチ前側を上下に動かします。

<うしろ側>



スイッチうしろ側を上下に動かします。

<全体>

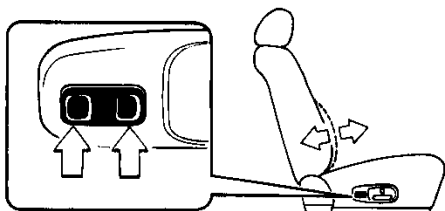


スイッチ中央を上下に動かします。

シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整

ランバー・サポート調整

運転席



- 硬くするときはスイッチ前側を押します。
- やわらかくするときはスイッチうしろ側を押します。

アーム・レスト

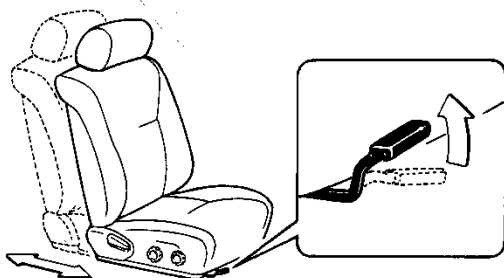
グランデGの運転席



- 倒すときは、固定ボタンを押したまま倒します。
- 起こすときはそのまま起こします。

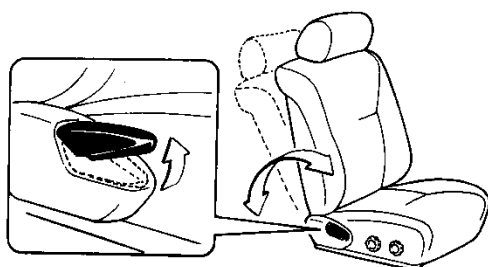
フロント・マニュアル・シート

前後位置調整



レバーを引いたまま調整します。

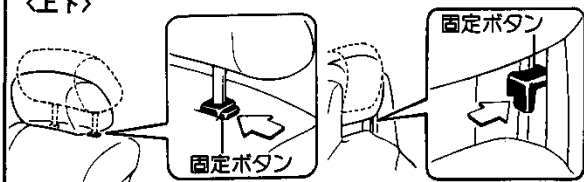
リクライニング調整



レバーを引いたまま調整します。

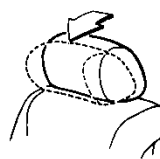
ヘッド・レスト調整

<上下>



- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。

<前後>

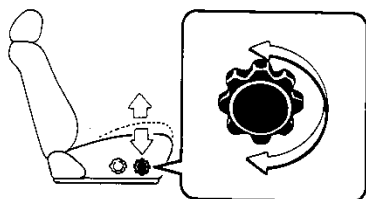


- 前方に倒して調節します。
- 後方にもどすときは、一度前方にいったばいまで倒し手を離します。

シート・クッション上下調整

運転席

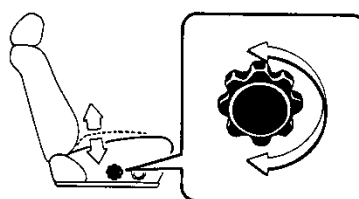
<前側>



ハンドルを回して調整します。

- 上げるときはうしろ側
- 下げるときは前側

<うしろ側>



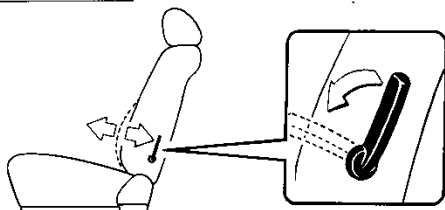
ハンドルを回して調整します。

- 上げるときはうしろ側
- 下げるときは前側

シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整

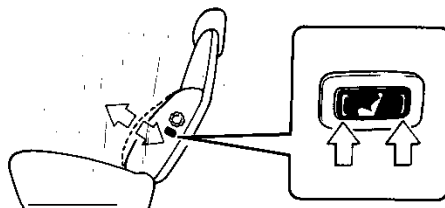
ランバー・サポート調整

グランデの運転席



レバーを繰り返して動かすと段階的に硬さがかわります。

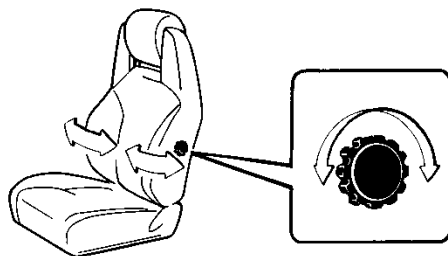
GT・ツインターボの運転席



- 硬くするときはスイッチ前側を押します。
- やわらかくするときはスイッチうしろ側を押します。

サイド・サポート調整

GT・ツインターボの運転席



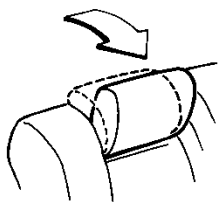
ハンドルを直して調整します。

- 内側にするときはうしろ側
- 外側にするときは前側

リヤ・シート

ヘッド・レスト調整

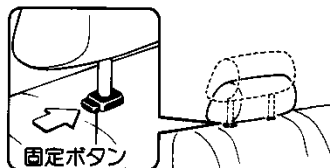
〈前後〉



- 前方に倒して調節します。
- 後方にもどすときは、一度前方にいったいまで倒し手を離します。

〈上下〉

グランデ(ツインカム24を除く)

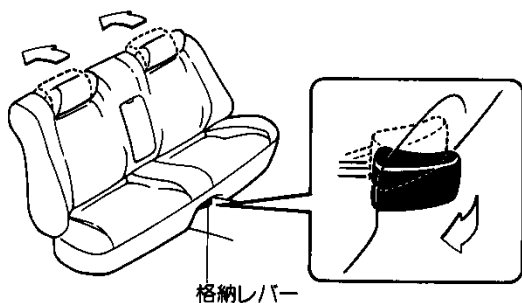


- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。

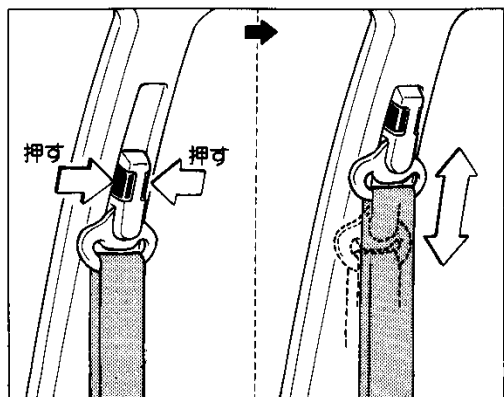
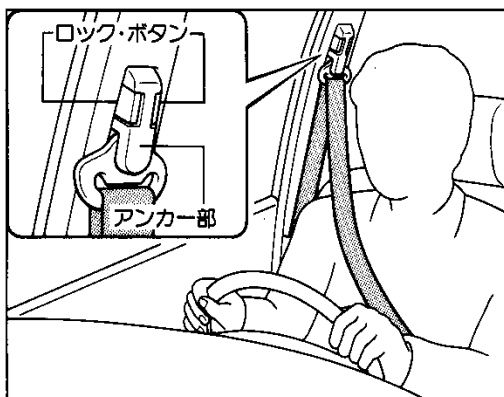
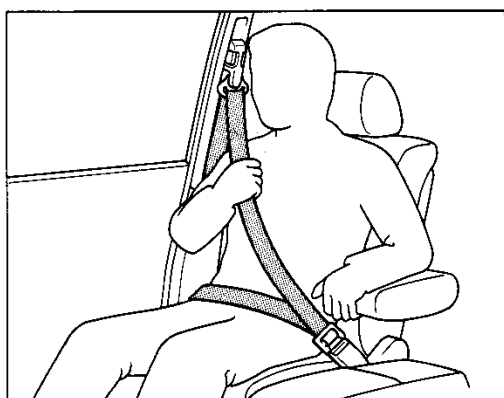
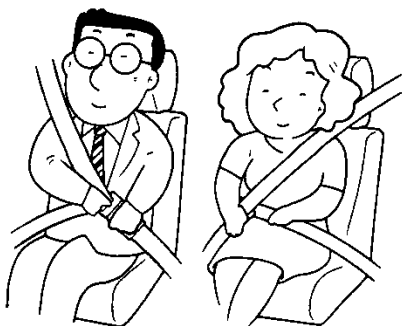
リモコン格納式ヘッド・レスト

GT・ツインターボ、グランデG、グランデ(ツインカム24)

運転席からヘッド・レストを格納位置にもどすことができる装置です。



- ヘッド・レストを格納位置にもどすときは、格納レバーを引きます。
- ヘッド・レストを起こすときは、格納レバーではできませんので、ヘッド・レストを手で引き起こしてください。



シート・ベルトの装着

シート・ベルトは正しく装着しないと効果が半減したり危険な場合があります。次の使用方法、注意にしたがってシート・ベルトの正しい取り扱いを身につけてください。



ちよっと一言

1. 走行前に必ずシート・ベルトを装着してください。
2. シート・ベルトは上体を起こし、シートに深く腰かけた状態で使用されたときに、最大の効果を発揮できます。
3. 腰部ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと装着してください。やわらかい腹部にかけると万一のとき強い圧迫を受け危険な場合があります。□次ページの「装着のしかた」を参照してください。

■ELR付き(緊急時固定式)3点式シート・ベルト

リヤ・センター・シート・ベルトを除く

身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃で身体が前に倒れそうなどときには、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

また、シート・ベルト装着時に、ベルトによる肩への圧迫感が少なくなるベルト圧迫感減少装置がついています。(フロント・シート・ベルトのみ)

▶アジャスタブル・ショルダー・ベルト・アンカー

体格にあわせてショルダー・ベルト・アンカーの高さを4段階に調節することができます。

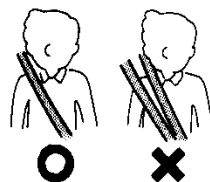
〈調節のしかた〉

1. 左右のロック・ボタンを押したままアンカー部を上下に動かし、最適な位置で手を離します。上げるときはアンカー部を押し上げるだけでも調節できます。
2. カチッと音がする位置までアンカー部を動かし確実に固定します。



注意ノ

1. ショルダー・ベルト・アンカーの調節は肩部ベルトが首に触れないように、また、肩に十分かかるようにできるだけ高い位置に調節してください。そうしないとベルトの効果が低下することがあります。



2. 調節後はショルダー・ベルト・アンカーが確実に固定されていることを確認してください。

〈装着のしかた〉

シートを調整し、上体を起こし、深く腰かけてすわります。

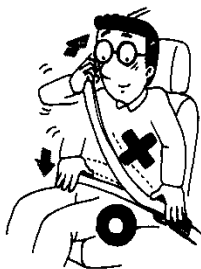
1. プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。



2. プレートをカチッと音がするまで確実にバックルに差し込みます。



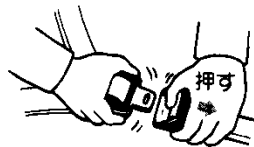
3. 腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとし、肩部ベルトを引き、腰部に密着させます。



〈取りはずし方〉

1. バックルのレバー（リヤ側はボタン）を押すとはずれます。

●フロント側



●リヤ側



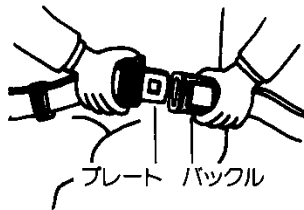
2. プレート側のベルトは自動巻き取り式ですので、ベルトをはずすと自動的に格納されます。
3. ベルトが自動的に格納されないときは、いったんベルトを引き出し、ねじれなどが無いことを確かめます。ベルトを手に持ちながら、ゆっくり巻き取らせてください。

■長さ調整式2点式シート・ベルト リヤ・センター・シート・ベルト

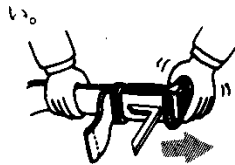
〈装着のしかた〉

上体を起こし、深く腰かけてすわります。

1. ベルトがねじれていないことを確かめてから、プレート^①をバックル^②に差し込みます。



2. ベルトが短いときは、プレート側のベルトを下図の要領で伸ばしてください。



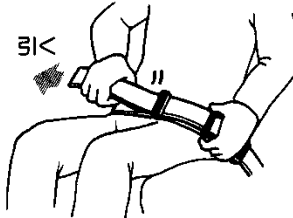
プレートとベルトを直角に

3. ベルトが必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとともに、腰骨のすぐ下あたりにかけないようにします。

腰骨にはかけないでください。

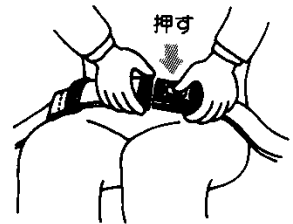


4. 下図のようにプレート側のベルトを引いてベルトのゆるみをなくし腰部に密着させます。

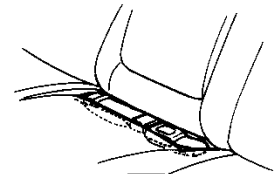


〈取りはずし方〉

1. バックルのボタンを押すとはずれます。



2. はずしたベルトは、格納ポケットに格納することができます。



シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整



注意!

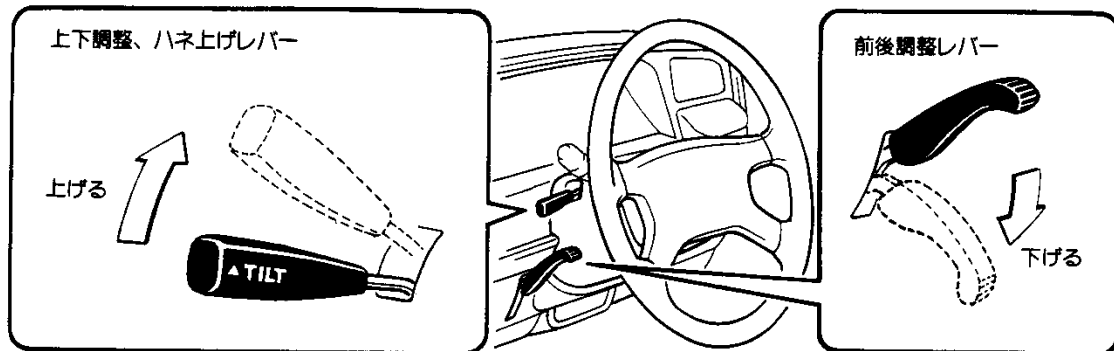
1. シート・ベルトは上体を起こし、シートに深く腰かけ腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置で、ぴったりと装着してください。また、シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。そうしないと万一の場合、身体が前方にすべり腹部にベルトがかかり強い圧迫を受け危険な場合があります。
2. シート・ベルトを装着した状態で、肩ベルトが首、あご、顔などに当たるようなお子さまの場合は、万一のとき危険ですからリヤ・シートにすわり、リヤ・シート・ベルト(2点式)を装着してください。
なお、乳幼児(6カ月～4才ぐらい)のために、トヨタ販売店ではチャイルドシート(注文装備)を扱っておりますので、ご使用をおすすめします。
3. ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
4. 妊娠中の女性や疾患のあるかたのシート・ベルト装着は、万一の場合腹部などに強い圧力を受けるおそれがありますので医師に相談のうえご使用ください。
5. ベルトのよごれは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使いブラシをかけて落としてください。薬剤などを使用するとベルトが弱くなり、万一のとき正常な働きをしないことがあります。
6. ベルトをドアなどではさまないようにしてください。万一のとき正常な働きをしないことがあります。
7. ベルト各部の損傷、作動状態を点検してください。
ほつれ、すり切れができたり、金具部などが正常に作動しなくなった場合は、ベルトを交換してください。



チルト&テレスコピック・ステアリング

GT・ツインターボ、グランデG、グランデ(ツインカム24)

ハンドル位置を上下、前後に調整できる装置です。また、乗り降りが楽に行えるよう、ハンドルを最上段までハネ上げることもできます。



- 調整後、ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
- 位置調整は走行前に行ってください。走行中の調整は危険です。

上下調整するとき

- ① ハンドルをささえながら、レバーをいっぱい
上げたまま



- ② ハンドルを希望の位置に動かしレバーから手を
離します。

ハンドルがその位置で固定されます。

前後調整するとき

- ① レバーをカチッという音がするまで下げます。

- ② ハンドルを希望の位置に動かし、レバーをカチッ
という音がするまで押し上げます。

ハンドルがその位置で固定されます。

ハネ上げるとき

レバーをすばやく確実にいっぱいまで上げます。

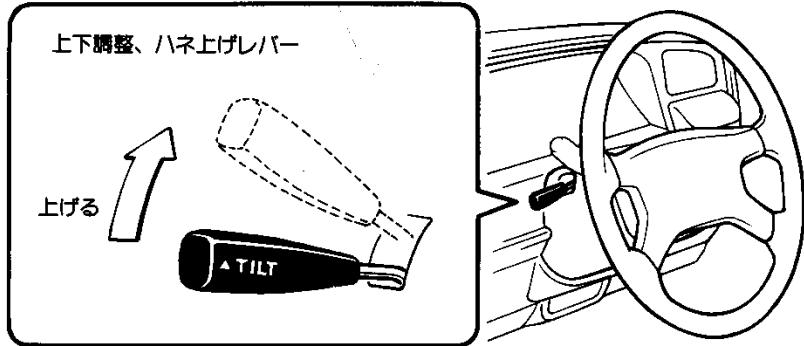
ハンドルが最上段までハネ上がります。

ハンドルをゆっくり下げればもとの調整した位置にもどります。

チルト・ステアリング

グランデ(ツインカム24を除く)

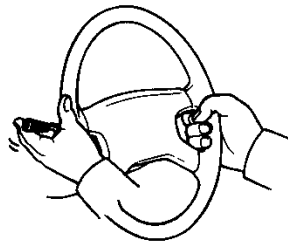
ハンドル位置を上下に調整できる装置です。また、乗り降りが楽に行えるよう、ハンドルを最上段までハネ上げることができます。



- 調整後、ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
- 位置調整は走行前に行ってください。走行中の調整は危険です。

上下調整するときは

- 1** ハンドルをささえながら、レバーをいっぱい
上げたまま



- 2** ハンドルを希望の位置に動かしレバーから手を
離します。

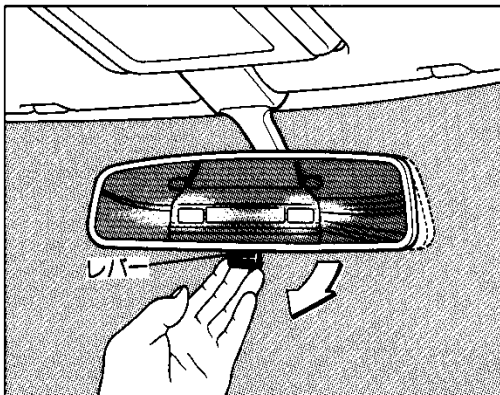
ハンドルがその位置で固定されます。

ハネ上げするときは

レバーをすばやく確実にいっぱいまで上げます。

ハンドルが最上段までハネ上がります。

ハンドルをゆっくり下げればもとの調整した位置にもどります。

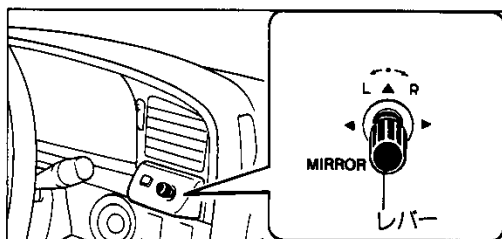


インナー・ミラー（防眩ミラー）



走行前に後方が十分確認できる位置に調整してく
ださい。

1. ミラー調整はレバーを前方の位置にして、ハンドルをにぎる
通常姿勢で行ってください。
2. 夜間走行時など、後続車のヘッドランプがミラーに反射して
まぶしいときは、レバーを手前に引いてください。



エンジン・スイッチがACCまたはONのときに使用できます。

電動リモコン・ミラー



走行前に後方が十分確認できる位置に調整してください。

▶ミラー調整

- 1.右側のミラーを調整するときは、レバーを回してRの位置にします。左側のときはLの位置にします。
- 2.その位置でレバーを上下、左右に動かして調整します。
- 3.調整が終わったら、レバーを回して中央の位置にします。

■ドア・ミラー

狭い駐車場に車を止めるときや、立体駐車場、自動洗車機などを利用するときにミラーを保護するため、必要に応じてミラーを後方に倒すことができます。

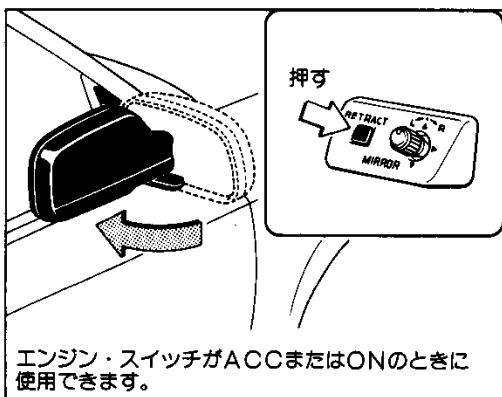


押す

注意! ミラーを倒したまま走行しないでください。

▶ミラーの倒し方

- 1.格納スイッチを押すと、ミラーが自動的に車両後方に倒れ固定されます。
- 2.左右のミラーがともに格納された状態のとき、スイッチを押すと車両前方に“カチッ”という音がするところまでどります。
- 3.手動で倒すこともできます。



エンジン・スイッチがACCまたはONのときに使用できます。



ちよつと一言

ドア・ミラーはフェンダー・ミラーに比べて、ミラーの張り出しが約10cm大きくなります。また、ミラーに映る像の距離感覚も異なりますので、ドア・ミラーに慣れるまでのしばらくの間、次の事項に注意して運転してください。

●狭い道でのすれ違いや車庫入れ時、あるいは歩行者などに対してミラーの張り出しに気を配りながら運転してください。

●運転席側と助手席側では鏡面の曲率半径が異なるため像の大きさが異なります。

●助手席側のミラーを見るときに視線移動が大きくなりますので前方不注意とならないよう注意してください。